

# 全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース 11月号 (No.216)

2021年11月30日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 [gsp10404@nifty.com](mailto:gsp10404@nifty.com)

経営懇役員リレーエッセイ

## 子どもの権利を考える

愛甲明実（鹿児島・共同保育所ひまわり園・園長）

2021年度から、経営懇役員をさせていただきます。

コロナ禍で子どもたちの生活はずいぶん変化しました。私たちもメディア漬けの子どもたちの生活を案じてきましたが、今では小学生にもタブレットが支給され、学習しています。おとなも同様で、webがなければ会議もままならない、ワクチンも受けられないといった状況となっています。所得格差もさることながら、情報格差も大きな問題になっていて、学校や保育園からの連絡もLINEの一斉送信で送られるといったことから、食事を切り詰めても、スマートフォンは手放せない状況となっています。そんな中で育つ日本の子どもたちの人権は大切にされているのでしょうか。

今年、児童憲章が制定されて70年が過ぎました。「児童は人として尊ばれる」「児童は社会の一員として重んじられる」「児童は、良い環境の中で育てられる」とされる児童憲章は、社会の中でしっかりと根付き、保育分野でもその精神が脈々と受け継がれています。その一方で、貧困や虐待が深刻な問題となり、子どもたち自身が誇りを感じる事が出来ない状況にあると言われています。コロナ禍で益々格差が広がっていくことが懸念されます。

一昨年は子どもの権利条約が30周年を迎えましたが、日本では、子どもの権利はなかなか根付かず、忙し過ぎる日本の子ども

たちに対して「ゆとりと遊びの権利が剥奪されている」等「国連・子どもの権利委員会」から指摘を受けています。夜更かしして睡眠時間の短い子ども、あるいはおけいごとなどで疲れている子どもが増えています。保育園でも朝から元気がない子どもがいます。外での遊びより室内遊びを好み、お散歩にも「行きたくない」と参加しないこともあります。

あそびは子どもたちの発達に欠くことが出来ない権利です。と同時にゆとりも大事です。子どもたちがボーっと過ごすことも重要な権利なのです。活動に参加することも保障され、参加しないことも保障されるような保育環境を作っていくことが大切なのではないでしょうか。

また、子どもの主体性を尊重するため、意見表明権を大切にしようという取り組みが増えてきています。乳幼児の意見表明については、言語表現に限らず、その子どもなりの思いを表出・表現する権利で、子どもが生活の主人公であるために欠くことの出来ないものだと言われています。幼い子どもは、泣いたり笑ったり、また指さして発見を伝えたり「モックイ」という片言であそびを要求したりして、思いを伝えます。私たちはその表情や仕草、片言から思いをくみとり、ていねいに応える保育者でありたいと思います。

# 第17回主任セミナー

## 画面越しでも語り合う場所 を作りたい！

### オンライン開催～11/12

2021年11月12日に、第17回主任セミナーを開催しました。昨年はコロナ禍により開催を見合わせましたが、今年はどうな形だったらできるのか？と検討し、オンラインで分散交流会にも挑戦しました。

参加申込みは258名にのぼり、多くの主任さんたちが主任セミナーの開催を楽しみにしておられたことがわかりました。すべての参加者に分散交流会での交流を保障したかったのですが今回は、初めて分散交流会をZoomで実施する関係で運営面の不安もあり、分散交流会の定員を150名としました。分散交流会に参加したかったという感想もあり、今回の経験を土台に、次回はみんなが参加できるような方法を工夫することができればと思います。



#### オンラインでの実行委員会

今年は、東京の会員園に呼びかけて実行委員を募りました。12名の実行委員で、8月から実行委員会を3回開き、分散交流会のうちあわせも含め、すべてZoomで行いました。そのためセミナー当日、初めて直接顔をあわせることが

でき、「やっと会えた！」と不思議な感じもありました。

#### 全体会～実践報告&西川由紀子さん講演



全体会は、東京と埼玉の主任からの実践報告と西川由紀子さん（京都華頂大学）の講演で構成しました。

西川さんは、第16回主任セミナー（2019年11月）に参加した主任を対象にアンケートを実施しました。今回の講演は、その内容をもとに、「保育園の主任の負担感はどこから来るのか」というテーマでお話いただきました。具体的な内容は、月刊『保育情報』11月号に論文が掲載されています。

#### 分散交流会～3つのテーマに分かれて

分散交流会は3つのテーマに分かれて、ミニ提案を全体で聞いて共有してから、10名程度のグループに分かれて交流しました。Zoomでの交流は、遠慮したり、表情がわかりにくいなど難しい面もありましたが、交流する場をつくることができました。



アンケートより

\*実践報告の2名の方と、同じようなことで悩んだり戸惑ったりしたので、共感できる内容でした。自分だけじゃないと思えることで次への活力をもらいました。〈鹿児島・50代〉

\*共感できることばかりで泣けてきました（オンラインでよかった…）。〈40代〉

\*大変なのは自分だけじゃない、もっと周りを頼っていいんだと思った。〈愛知・初参加〉

\*西川先生に分析してもらったことで、抱えている仕事を、まわりの職員や副主任と分担することが大切なのだと思った。主任の仕事の見える化が課題です。〈埼玉・40代・3回以上〉

\*次の人が「やりたい！」と思うような主任になりたいと思う。そのためには、仕事の分担もあるが、保育制度や保育環境をグリーンとよくしていかなければ！！〈京都・主任〉

\*皆が「主任って面白そう」と思えるような働き方をしていく、というところが納得できた。主任業務を書き出し整理してみたい〈兵庫・40代〉

\*体制づくりや会議のもち方の工夫などを交流しましたが、どの園も人手不足という面で共通しており悩みは一緒…。〈東京・50代〉

\*楽しかったです。聞いてもらえてうれしかった。話すって大事ですね。〈40代〉

\*Zoomでも少人数でグループ討議ができるなんて！感動しました。〈40代・主任・3回以上〉

\*初対面同士がZoomで交流するので、進行役は大変だったと思う。ありがとう…〈愛知・50代〉

\*賃金だけでなく、人が足りていないことが本当に大きい。自分たちが声をあげることが保育・子どもを守ることに繋がっているからこそ、保護者も巻き込んで声を大きくしていくことが大切。〈大阪〉

## 保育をめぐる情勢

### ●9,000円賃上げ、実現しても効果はわずか！？

政府は、新たな経済対策として、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を11月19日に閣議決定しました。新経済対策の柱は4つで、その一つの『Ⅲ未来を切り拓く「新しい資本主義」の起動』の中に、分配戦略として「看護・介護・保育・幼児教育など現場で働く方々の収入の引き上げ等」が盛り込まれました。

具体的には、月額9,000円程度（3%）の賃金引上げとされています。財政的な裏付けとしては、2021年度補正予算を2022年度当初予算と一体的に編成することで対応するとしています。

9,000円賃上げと言っても、配置基準以上に職員を配置している園が多いため、実際に職員一人ひとりの賃金が9,000円上がることはあり得ません。また9,000円当額自体が不十分であることを現場の声として国に届けていくことが必要です。

## 施設署名ご協力ください

経営懇では、10～11月で、全国の民間保育園を対象に配置基準アンケートを実施しました。1000を超える施設から協力していただき、その施設に対し、配置基準改善を求める施設署名への協力を呼びかけているところです。

施設署名は、1月に行う厚労省懇談で国に提出する予定です。会員園のみなさんにも、施設署名にご協力いただきたく、お願いします。同封の施設署名に賛同いただける方は、FAXにてお送り下さい（すでにメールで返信下さった方は除く）。

## 各地の動き・活動

### ●「原爆ドームを平和のバナーで囲もう」11月3日



この取り組みは、11月3日憲法記念日に、「原爆ドームを平和のバナーで囲もう」実行委員会が主催して、今年で5回目となりました。「平和憲法を守りたい」「憲法を生かそう」「9条を守りたい」を主張する女性たちの取り組みとして、毎年自分の平和への思いをバナーに託して持ち寄り、原爆ドームを囲むつどいをしています。

この取り組みのきっかけとなったのは、広島的女性たちの声でした。平和の運動に関わっている女性たちから「男性の中で、どうも女性の発言がしにくい」という感想が出て、女たちで何かしようと思いついたもので、女性団体の野党共闘のようなものです。

フラワーデモ、ジェンダー問題、慰安婦問題など取り上げて、時には学習会、時にはそれぞれの団体の今取り組んでいることの交流学习会、街中で宣伝行動などなど、色々広がっています。

欠かせないのが11月3日の「原爆ドームを平和のバナーで囲む」この取り組み。今年は、リレートークで、高校生平和大使、ジェンダー問

題で女性弁護士、黒い雨訴訟について毎日新聞女性記者が発言しました。毎年、女子高校生と女性弁護士は登壇します。他には被爆者の話など、様々な方が発言します。

リレートークの後は、それぞれのバナーを広げて原爆ドームを囲みます。そしてシュプレヒコールをして終わります。

今年も、高校生の話には感激しました。被爆者からの聞き取りができる最後の世代として、決意を述べてくれています。しっかりした高校生たちの存在に元気をもらいました。

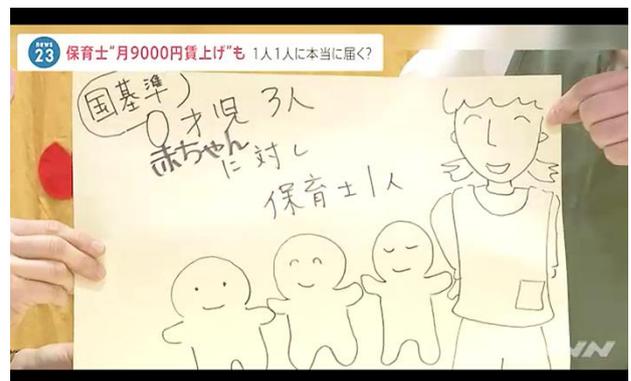
広島・(福)愛児福祉会・石川幸枝

### ●現場の実態・要望を工夫して発信！ / 東京・新田保育園

11月下旬に、東京・新田保育園が、ニュース番組に登場しました。政府が、保育や介護分野の職員の賃金を月額約9,000円(3%)引き上げるとしていることについての取材です。ニュースから紹介します(TBS・HPより)。

(ナレーション) 今回の経済対策で、政府は保育士などの賃金を月額9,000円引き上げるとしていますが・・・  
新田保育園園長：

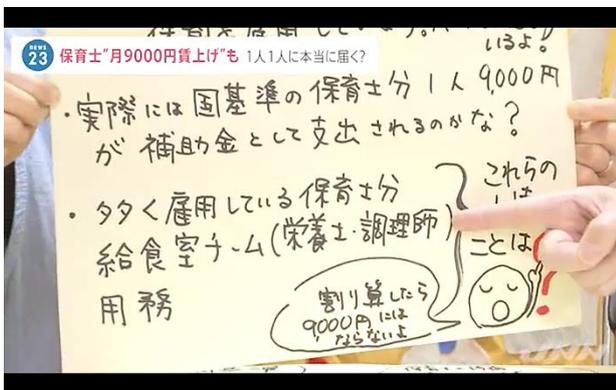
「ないよりは嬉しいですけど、私たちが本当に求めていることってそういうことなのかなって思うと、やっぱりクエスチョンマークです」 どういうことか、紙芝居で説明してくれました。



保育園には「0歳児3人に対し保育士1人」といった配置基準があります。



園長：「ところが1人の保育士で3人の赤ちゃんの対応は無理です。3人でいっぺんに泣くこともあります。ですので、多くの園では国基準より多く職員を雇用しています」

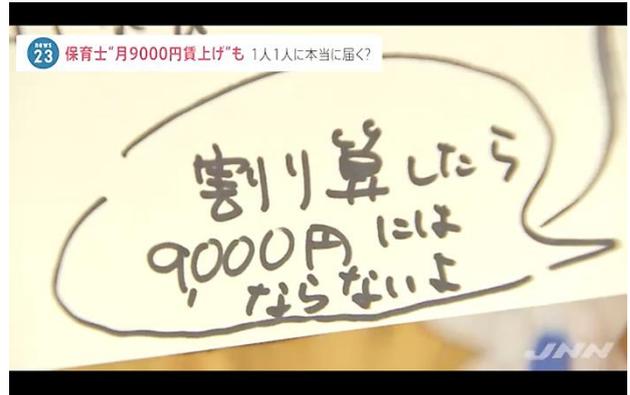


こちらの園の場合、国の基準だと必要な職員は22人。しかし、実際には31人の職員がフルタイムで働いているのです。



そのため、9,000円引き上げられとしてもこんな懸念が・・・

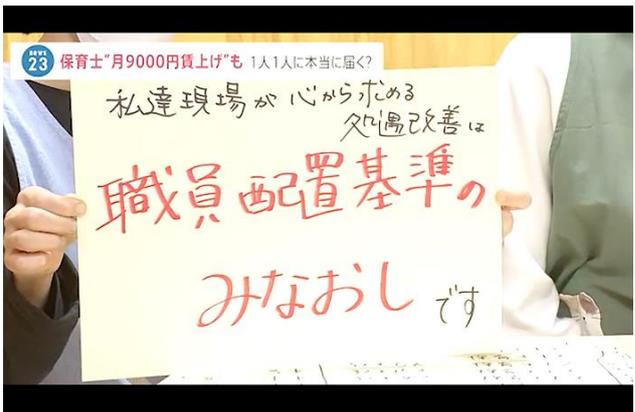
園長：「国基準で9,000円がおりてきても、割り算したら1人あたり9,000円にはならないよ、ということは心配しています」



「手元に届くととなるとやっぱり2~3,000円になるのかなと思います」



「職員配置基準を改善してもらわないと私たちが望んでいるような処遇改善にはならないです」



月額9,000円賃上げと大々的に報道されていますが、必ずしも個々の保育士の賃金が9,000円上がるわけではありません。配置基準や職員体制がギリギリといった実態を、この取材のように、わかりやすく発信したいですね。国会議員や自治体との懇談で応用してみませんか。

※全国各地の会員園から その1※

## 保育制度改善において 保護者と共に 粘り強く運動したい

埼玉・社会福祉法人くわの実会

くわの実保育園園長 麻生由美恵

1976年、働く父母の要求（産休明け保育・長時間保育・障害児保育など）を実現する保育園をつくろうという運動によって『くわの実保育園』ができ、45年が経過しました。

私がかくわの実保育園の保育士として働き始めて30年になるのですが、私のくわの実保育園の第一印象が『保育士と保護者とが近い保育園だなあ』でした。そしてその頃から秋になると『国会請願署名』を保護者と一緒に頑張って取り組んでいました。私自身この保育園で働く中で、前園長の小河百合子さんの社会のいろいろなことに目を向け行動する姿や保育情勢を学ばせてもらい、『保育士は日々の保育も大切だけれど、それだけではダメ、社会の動きにも目を向け保育運動を進めていくことも大切なんだ』ということを教えていただきました。

くわの実保育園の保育運動の中心は『保育要求委員会』です。保育要求委員会は、今から24年前に父母の会の会則に設置されたものです。委員長は父母会三役から一名、園長が副委員

長、職員と0歳から年長までの各クラスから各一名の委員構成です。設置当初は、同じ保育園の保護者でも子どものクラスが違くと初めて会話を交わすという関係も多く、その上「保育要求って何？」「何でそんな事必要なの？」と素朴な疑問が出されるような、お母さんたちの集まりから始まりました。

年度末の保育参観日で保護者が集まった時に、次年度の諸々役員を決めてもらうのですが、保育要求委員は最後まで決まらない係でしたが、今では、入園年数が長くなってきたお母さんから「他のクラスのお母さんと仲良くなれるから楽しい」「秋は忙しくて大変だけど、保育園の事いろいろ知れるから…」「去年に引き続き保育要求委員やります」などの声も聞こえてくるようになりました。

委員会からのお知らせや活動報告は『どどめニュース』として委員が順番で発行します。そして11月の保育大集会（東京・日比谷野外音楽堂で開催）には、園内フリーマーケットやカンパ活動で捻出したお金で大型バスを借り、みんなが集めた署名の束を手に、保護者・職員・子どもたちと大勢で参加し、職員がアイデアを絞ったアピールや仮装でパレードも楽しんでいます（↓写真は2017年11・3集会より）。



今年度も9月中旬から国会請願署名活動を開始しました。例年は保護者の保育情勢学習とセットで署名用紙を各家庭に手渡しで配布してい

るのですが、コロナ禍で集まる事が難しい事から、現在の保育情勢と署名活動の大切さを伝える『どどめニュース』発行と保育要求委員さんからの声掛けによって署名用紙が配布（一家庭100筆・職員150筆分）されました。また、市内の保育施設や関係団体にも毎年お願いに行き、11月中旬までの約2ヶ月間で1万3,000筆を集める目標としました（昨年度は、1万3,664筆集めました）。

このような取り組みは、北埼玉保育問題研究会に参加している14園（8市町）でもそれぞれ工夫して行っています。また、各園の代表が集まる『政策部会』が年4～5回持たれ、各自治体の様子や取り組みを交流し合い、情報を共有しています。秋の署名活動の前には政策部会主催の学習会が行われ、まずは保育士自身が保育情勢を知り、各園での保護者との活動へと繋げたり、署名活動の取り組み方や工夫を交流しています。そして各園の署名数の交流もし、刺激をもらい合い、活動に繋がっています。昨年度は北

埼玉保問研として、約7万筆の署名を国に届けています。

新型コロナウイルス感染症が流行しだしてもう直ぐ二年となりますが、どんな時でも保育園は子どもたちを受け入れ、生活と育ちを保障し、子育て家庭を支え続ける努力をしてきました。地域によって差はあっても、保育する中でたくさんの不安を感じ、その都度みんなで力を合わせて乗り切ってきました。そして今まで当たり前のように思っていた保育が当たり前ではなく、もっとこうならなければ…こうしなければ…ということに気付かされてきました。

子どもたち・子育て家庭・保育従事者のために保育制度の改善を求め、ひとりでは出来ないことをみんなで繋がり、声を上げていきましょう。

↓2021年9月12日政策部会主催学習会の感想より

## 政策部会 オンライン学習会

- ・入園してから参加している署名活動の大切さを改めて知る機会となりました。特に保育士の人数不足はメディア等を通してなんとなく知っていましたが数字にしてみると深刻さがよく分かりました。これから日本も女性が多く働くようになり「より働きやすい社会を」と言われている中、まずは預け先(保育園)の整備が不可欠だと感じました。しかし、すぐには改善するのは難しいと思うので、今まで以上に署名活動を大切にして、親としてイベント等など引き続き活動への参加を行っていきたいと思います。また、署名以外にもより効果的・具体的な方法があれば逆井さんに関いてみたいです。
- ・保育士さんたちの世界も労働組合が必要だと思いました。
- ・公的価格などの事をとでもわかりやすく説明していただいたので、これならば私もなぜ今署名を集めることが大切なのかをいろんな人に話すことが出来るなと思いました。
- ・保育士不足の為、低賃金で超過勤務、休憩もままならずで、より良い保育ができるはずありません。行政に対してもっと現場を見てほしいと思います。私たちももっと声を上げ、今の現況を訴えて行こうと思いました。

# お知らせ

## ●第41回経営研究セミナー、オンラインと対面併用で開催します

日時：2022年1月10～11日（月～火）

開催方法：オンライン（Zoom）と対面

会場参加定員 150名

Zoom 定員 350名

参加費：9,000円（会員園からの参加）

15,000円（会員外）

申込締切：12月20日（月）

## \*必ず、講座・分科会の希望を記入してください！

分科会もZoomのため、定員を設けます。

定員：Zoom80名、会場20名

- ・事前の希望をもとに、分科会参加者を決めます。
- ・分科会ではグループ討議も予定しています。グループ討議の進行役・記録等をお願いする場合がありますが、ご協力下さい。
- ・希望欄が未記入の場合は、会計講座への参加をお願いすることとなります。

## ●今年度会費納入のお願い

2021年度会費をまだ振り込んでいない施設の方は、なるべく年内にお振込みください。

※役員が連絡しますので、よろしくお願ひします。

セミナー参加者に聞いてみた

## 忘れられない、 あの一食！

初めて給食で  
ブロッコリーのおかかあえを  
食べた時の

## おいしさ！

生家のブロッコリーは  
ほぼ生だったので  
カタイ食べ物だと思っていた。

（愛知・職員・20代）

【経営懇・活動日誌】11月

○11月3日（水）オンライン運動交流・学習決起集会（全保連主催）

○11月5日（金）主任セミナー全体会（報告&講演）事前収録。西川由紀子さん（京都華頂大学）、報告者2名とZoomで収録。

○11月8日（月）主任セミナー分散交流会うちあわせ（PC操作・司会・提案者・助言者）

○11月11日（木）主任セミナー前日準備

○11月12日（金）主任セミナー（配信拠点：多摩永山情報教育センター）

○11月22日（月）経営研究セミナー企画検討会議（研修部担当三役・事務局長で検討）

○11月25日（木）経営研究セミナー案内郵送

○11月29日（月）研修部会（経営研究セミナーの開催方法等詳細について検討）・三役会

## 同封資料

①第41回経営研究セミナー案内書

②施設署名

12月20日までに返送してください。